

地域提案型

平成22年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	カンボジア
2. 事業名	音楽教育を活用した教員の授業実践力向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>カンボジア王国での主要教科における教授法は、板書や教科書の模写・丸暗記に終始している教師主導型で、将来の国家発展に必要な自ら考え、行動に移す人材の育成には「課題解決学習」的な指導法を取り入れた早急な授業の改善が求められている。</p> <p>しかし、主要教科での指導法の大改革は、誇りを持って教育にあたってきた教師の自尊心を傷つけ、逆効果を生む恐れがあるため、本事業ではシエムリアップ市ワットポー小学校をモデル校とし、新しい分野であり教師自身が「学ぶ」ことの楽しさや指導法改善の重要性を体感できる音楽教育を通じた「課題解決学習」的な指導法を指導し授業実践力の向上につなげていく。</p>
4. プロジェクト目標	ワットポー小学校並びにプー・バンテアイチェイ小学校、トロ・オンドーン小学校の教師の授業実践力が音楽教育を活用して向上する。
5. 対象地域	シエムリアップ州シエムリアップ市
6. 受益者層（人数規模）	シエムリアップ市教師300人ならびにその生徒
7. 活動及び期待される成果	<p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 対象校の教師が、基本的な課題解決学習的な指導法を習得する。 2 対象校の教師が、基本的な音楽指導法を習得する。 3 対象校において、音楽教育等の指導計画が策定される。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1 滝川市がシエムリアップ市の教師を受入、学校視察、教育センターや大学などでの理論学習等を通して基本的な課題解決学習的な指導法について研修を実施する。 1-2 1-1で習得された内容を、他教師に伝達するワークショップや研究授業などをシエムリアップ市で実施する。 1-3 教育専門家等を派遣し、課題解決学習的な指導法の指導技術の確認と補強指導を行う。 2-1 滝川市がシエムリアップ市の教師を受入、学校視察、教育センターや大学などでの理論学習等を通して基本的な音楽指導法について研修を実施する。 2-2 2-1で習得された内容を、他教師に伝達するワークショップや研究授業などを実施する。 2-3 教育専門家等を派遣し、指導技術の確認と補強指導を行う。 3-1 滝川市がシエムリアップ市の教師を受入、教育センターや大学等での理論学習等を通して音楽教育等の指導計画策定方法について研修を実施する。 3-2 3-1で習得された内容を活用して、音楽教育指導計画を策定する。 3-3 教育専門家等を派遣し、指導計画作成技術の確認と補強指導を行う。
8. 実施期間	平成23年7月～平成26年6月
9. 事業の実施体制	<p>【日本側】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業企画：滝川市 ● 事業実施：社団法人滝川国際交流協会 ● 協力機関：滝川市教育委員会、空知教育センター、國學院大學北海道短期大学部 芦別市国際交流協会 <p>【カンボジア側】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業実施：ワットポー小学校並びにプー・バンテアイチェイ小学校、トロ・オンドーン小学校 ● 協力機関：教育省、シエムリアップ州教育局、シエムリアップ市教育委員会、教員養成校
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	社団法人 滝川国際交流協会（北海道滝川市）
2. 対象国との関係、協力実績	<p>平成19年1月より滝川高等学校OGであるJOCV隊員（小学校教諭）がワットポー小学校に配置されて以来、楽器や学用品の寄贈などに協力してきた。また、平成19年11月に受入を行ったJICA青年研修事業によって当該学校及び関連地域の理科教員受入を実施した。</p> <p>平成22年1月にはカンボジア王国へのスタディーツアーを開始し、滝川高等学校では生徒によるカンボジア王国支援プロジェクトを開始。さらに、平成22年7月には教育事情調査団の派遣。</p>